

森のおくりもの2月



アトリ（アトリ科）



今年の冬は、雪が少しずつ度々降っている上に、気温の低い日が続いているため雪の状態が良く、足跡の観察には最適です。足跡の先には足跡の主が必ずいると思いながら、「こんなところを通るんだ」とか「ここで何をしたのだろうか」などと考えると楽しくなります。足跡から春の接近を感じることもできます。寒さはまだ続くのですが日差しは春に向かっていきます。春を待ちつつも、冬を楽しみましょう。

【写真・文 早坂 徹】

白の衣がステキな ダイサギ



■首をS字に曲げて脚を伸ばして飛翔します。首を伸ばして飛翔する白い鳥は白鳥や鶴の仲間です。

【体長：約90cm】

最近、センターの上空を飛翔する姿が見られるようになった大きな白い鳥は、「ダイサギ」。天気の良い日に見かけると、青い空に白い姿が映え、優雅で思わず見入ってしまいます。

白鷺の仲間は色やスタイルが似ていますが、大きさや嘴、脚で区別ができます。見かけた時にちょっと脚や嘴に注目して見てみてください。(冬に観察センター周辺で見られる白鷺類はダイサギとコサギだけです。)

ヨシの湿地で 獲物を狙うダイサギ

■ダイサギやチュウサギは夏と冬で嘴の色が変わります。夏は黒く、冬は黄色。(コサギは夏も冬も黒いよ。)

亜種で分けると・・・



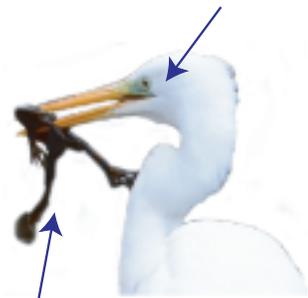
■趾(あしゆび)が全部黄色だったらコサギ
亜種ダイサギは趾の裏だけ淡色

■脛(すね)から、附蹠(ふしよ)にかけて黄白色または淡色であると亜種ダイサギ* (真っ黒だと亜種チュウダイサギ)

この時ヨシの湿地にいたのは亜種ダイサギですね。

■附蹠(ふしよ)人でいうとかかたにあたる場所

■嘴の切れ込みが眼の後ろを超えるのはダイサギ
越えなければチュウサギ



■捕まってしまったツチガエル蛙の他にアカハライモリなども捕食します。

【レンジャー：黒川周子】

*ダイサギは年中いるように見えて実は渡り鳥です。亜種チュウダイサギが夏に日本に渡ってくる夏鳥(一部越冬もする)で、亜種ダイサギ(ダイダイサギ)が冬鳥として日本で見られます。また、チュウサギは夏鳥です。

2月の生物ごよみ

まだまだ寒い日が続いていますが、2月には樹木の1番手『マンサク』が咲き始めます。昨年は2月16日にやすらぎの道でいち早く開花しました。マンサクはいたるところにあるので森を歩いても容易に探すことができます。花は場所を変えて一ヶ月ほど楽しめます。特に今年はマンサクの花芽がたくさんあるので大いに期待できそうです。



森で見つけた冬越しの生き物たち

観察の森で見つけた冬越しの生き物たちをピックアップしてみました。



小鳥の森で見つけたルリタテハ。翅を閉じてじっとしていると樹皮の色と同じでよく見ないとわからない。うまくかくれている。



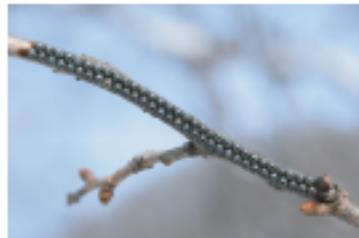
イヌツゲにとまっていたウラギンシジミ。常緑樹でよく見つかる。昨年は、いこいの道のシロダモに2~3匹とまっていた。



クリの樹皮に産み付けられたクスサンの卵。隙間なくびっしりと産み付けられていた。数えると105個の卵があった。



はおとの道で見つけたイラガの繭。固い殻に包まれている。幼虫は毒針を持ち、刺されると非常に痛い。



細い枝に産み付けられていたアオクチボトカメムシの卵。枝に2列に規則正しくならんでいる。



ミノオキヒロヒラタヒメバチがシロダモの葉の裏で越冬中。寄生バチの一種でガの幼虫などに寄生するようだ。



オオムラサキは幼虫で冬を越す。エノキの木の下にある葉裏で静かに春を待つ。若葉が茂るころ、また木に登りその夏、成虫になる。



クロアゲハの蛹。ドウダンツツジの枝に鮮やかな緑が映える。茶色のタイプもある。



ヤマブキの枝に付いていたシンジュサンの蛹。一見枯れ葉と間違ってしまう。

【レンジャー：齋 正宏】



レンジャーの森の雑記帳



凍えるような或る日に、観察センターから巡回に出かけると、裏手の橋の下でアオキが氷柱に覆われているのが目についた。常緑のアオキではあるけれど、さすがに植物がこのような冷却に耐えられるのか見ていたが、一向に枯れるような気配どころか、むしろ葉の表面も生き生きとしてるようなそんな感じさえある。人が過酷な状況とってみても植物は抗うことなく自然の事象に呼応して順応していく。アオキが古来にその強靱な生命力から縁起が良いとされてきた云われが分かるような気もした。透き通った氷塊も冬の長い時間をかけて少しずつ成長し、今がある。自然が偶然に造り上げた造形は不自然ではない美に溢れている。自宅に長年通う高齢の庭師が空を仰ぎ話した言葉を思い出した。自然に敵う庭なんか造れる訳がないんですよ、と静かにしかし深い敬畏をこめて・・

【レンジャー：阿部正明】



季節を感じて楽しむ

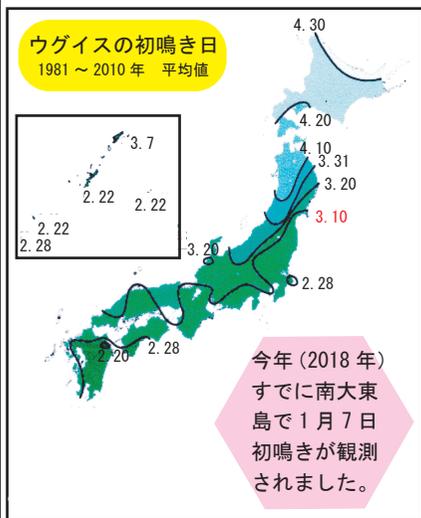
森の七十二候

第11回



立春が過ぎると春のおとずれが気になり始めます。「春告鳥」といえばウグイス。ウグイスの初鳴き（「ホーホケキョ」というさえずり）は桜の開花と同じように、気象庁で統計をとっている生物季節観測（※）の種目になっていることはご存知ですか？

2010年までの全国平均は下図の通りです。ちなみに仙台管区気象台が発表した昨年の初鳴きは3月10日。平年並みでした。七十二候のように2月中に聞くことは難しそうです。



うぐいす 黄鶯 鳴 呪

2月9日から13日ごろ

ウグイス



ウグイスの鳴き声にはいくつ種類があります。繁殖期にオスだけ出す声が**さえずり**と呼ばれる「ホーホケキョ」という鳴き声です。さえずりには、**なわばりを宣言する、メスを誘う、他のオスを威嚇する役割**があります。またオスは、「ピルルルルルケッキョケッキョ・・・」と長く続く声で**谷渡り**という鳴き方をします。**何らかの警戒**の意味があるとされています。一方抱卵・育雛中のメスは「チーチー」と甘えた声を出すことがあります。非繁殖期（秋～冬）にはオスメスとも「チャッチャ」という**笹鳴き**をします。

観察の森でウグイスの初鳴きが聞かれるのは、仙台管区気象台の発表から数日後のことが多いです。昨年は3月18日でした。さて今年はいつになるのでしょうか。

【レンジャー：遠藤和子】

※気象庁がおこなう生物の動向で、季節の移り変わりを調べる観測。サクラの開花、カエデの紅葉など生活に身近な生物に着目するので人々の季節感に訴える手軽な指標。



のイベント & お知らせ

動物のフィールドサインを探そう

・森の中に残された足跡や食痕から、観察の森にどんな生き物が暮らしているのか探ります。

【日 時】2月17日(土) 午前10時～11時半

【講師】西谷理恵氏
(宮城県森林インストラクター協会)

【定員】20人(先着)

【申込み】2月6日(火) 午前9時から電話受付

森のクラフト「木の実でつくるひな飾り」

・木の実や小枝を使って自由にクラフトできる工作コーナーを設置します。

【日 時】2月24日(土)

【受付時間】午前10時～午後3時半

【申込み】不要 【費用】無料

※受付時間内に観察センターにお越しください。材料がなくなり次第終了となります。



ガイドウォーク「館長と森を歩こう」

・春間近な観察の森を館長が案内します。

【日 時】2月25日(日)

午前10時～11時半

【服装】歩きやすい服装で

【申込み】不要



「野鳥のレストラン」を開いています!

・えさ台に集まる野鳥を、あたたかい部屋の中から観察できます。野鳥に関するクイズに当たれば『オリジナル野鳥のしおり』がもらえます。



森のちいさなアトリエ「森の小さなプランター」

・準備してある材料を使って誰でも自由にクラフトが作れます。毎日開催しています。



12月から3月まで冬季のガイドウォークは午前1回です。

・冬季(12月から3月まで)は午前10:00～11:30のみの開催となります。

毎週日曜は

「ガイドウォーク」の日!

テーマ「森とけものたち」

2月の開催日は

4日、11日、18日、25日

開催時間:午前 10:00～11:30

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のため、しばらくの間通行止めになります。

2月の休館日

5日、13日、19日、26日



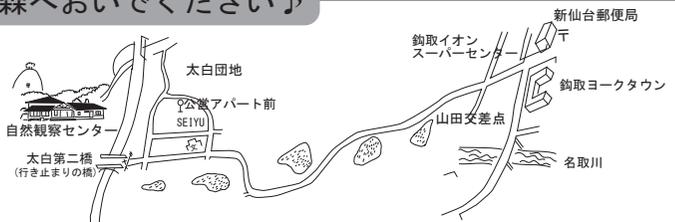
♪森へおいでください♪

宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 7番のりば 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 3番のりば 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 6番のりば 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由山田南ニュータウン行」)
いずれも宮営アパート前下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」バックナンバーはWebでチェック!

2018年2月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森

自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>